

ノカンゾウ

Hemerocallis fulva L. var. *disticha* (Donn ex Ker Gawl.) M.Hotta
ススキノキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

開発の影響に加え、園芸採取により激減したと考えられる。自然遷移を含め今後の個体数の推移や生育地の確認に注目したい。

分 布

本州～九州に分布する。県内では高浜町、おおい町、越前市、福井市、勝山市、大野市で確認されている。

種の特徴

溝の縁や野原に生える多年草。根にときにふくらみがある。葉は長さ50～70cm、幅10～15mm。花茎は50～70cm、上部に小型の苞がつく。花期は7～8月、花序は2分してそれぞれに10花内外が開く。花被片は橙赤色でほとんど同形。結実することは少ない。

生育を脅かす要因

道路工事、園芸採取、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○									○			○	○	○

ヒメニラ

Allium monanthum Maxim.
ヒガンバナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

個体数が少ない。森林の伐採や里地・里山の管理放棄による遷移によって、生育環境が悪化し減少傾向にある。

分 布

北海道、本州、四国に分布。県内では奥越、丹南、福井市に分布している。

種の特徴

山野に生える多年生草本。鱗茎は卵形、長さ約1cm。葉は2個、根生し、長さ10～20cm、幅3～8mm。花期は3～5月。雌雄異株。花茎は高さ6～10cm、先に白～淡紅色の花を1つつける。結実しないことが多い。

生育を脅かす要因

森林伐採、管理放棄、土地造成、道路工事。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、福井県植物研究会（1997）、若杉孝生（1970）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○				○		○	○	○	○

ギョウジャニンニク

Allium victorialis L. subsp. *platyphyllum* Hultén.
ヒガンバナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地は限られ、個体数も少ない。薬用や山菜として採集される危険がある。

分 布

北海道～本州に分布。県内では奥越に分布する。

種の特徴

深山に生える多年生草本。全草に強いネギ臭がある。鱗茎は長さ4～7cm。葉は長楕円形、長さ20～30cm、幅3～10cm。花期は6～7月。花茎は高さ40～70cm、茎頂に白色～淡黄色の散形花序がつく。雄蕊は花被片から突き出る。

生育を脅かす要因

森林伐採、薬用採取、自然遷移。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	